

吉岡良太夫が絵本になりました

よしおかごんだゆう

「吉岡良太夫の生涯
～まっすぐな武士の道～」

掃部 千鶴 作・画



吉岡良太夫の絵本が
できるまで

矢祭町ゆかりの偉人、吉岡良太夫の生涯を紹介する絵本が完成しました。制作の中心となったのは、第13回矢祭絵本大使の掃部千鶴

(かもん ちづる) さんです。今回の絵本は貼り絵での制作となり、読書推進リーダーが貼り絵のもととなる色紙の一部を作りまし

た。海の色と空の色、畳の色の依頼を受け、使用される挿絵のイメージをしながら、海の波の表現や畳の色について、意見を出し合いながら取り組みました。絵の具を混ぜて様々な色を作ったり、筆だけでなくスポンジを使うなど多様な道具を使ったり、と工夫を凝らした色紙が完成しました。



協力してくれた読書推進リーダーの二人の制作風景



「吉岡良太夫」はどんな人？

よしおかごんだゆう



1830年2月26日に、現在の矢祭町大字中石井の豪農であった鈴木家の次男として生まれました。17歳で故郷を離れて学問武芸を学ぶべく日本各地をめぐり、その後長崎で奉行祐筆(書記)、江戸幕府において軍艦取調役と出世していきます。30歳の年、幕府の軍艦咸臨丸に公用方として乗船します。一団は日本初の太平洋横断任務を成し遂げました。帰国後から数年後、明治維新の激動の中、幕府側についた良太夫は追われる身となります。身を隠すために修行僧になりましたがその後に新政府軍に捕まり、40歳でその生涯を閉じました。

歴史を受け継ぐ

矢祭町から世界へと活躍し、幕末の混乱を生き抜いた吉岡良太夫の生涯を矢祭町の皆さん、さらには他地域の方に広く知ってもらおうと、絵本を制作することとなりました。絵本のあとがきとしていただいた、掃部さんのコメントの一部をご紹介します。

「良太夫さんの絵本に親しんで、自分だったらどうするだろうと考えたり、資料編の年表で理解を深めたり、参考の図書を読んだり、興味を広げていただけたら喜びです。」

矢祭町の古地図や、吉岡良太夫にまつわる多くの資料を参照し、史実に基づき吉岡良太夫の生涯を楽しみお話にさせていただきました。

吉岡良太夫絵本を読む

こちらの絵本は幼少期のエピソードから

ソードから、良太夫の正義感をのぞかせる咸臨丸での事件、時代の流れに巻き込まれながらも苦しい決断をする最期まで、吉岡良太夫の生涯を、起承転結のある物語に落とし込んだ1冊となっています。

物語として楽しむことができるだけでなく、年表などの資料も巻末に付録されています。吉岡良太夫が生きた時代背景もふまえながらお楽しみください。

今回制作した絵本はもったいない図書館での貸出はもちろん、各地区の公民館に配架します。ぜひ一読ください。ご希望の市町村には絵本を無償で配布いたします。矢祭もつたいない図書館(0247-464646)までお問い合わせください。

さらに絵本の完成を記念して、絵本の原画を矢祭もつたいない図書館入口に展示しています。推進リーダーが作成した背景も探してみてくださいね。